

2010年3月期 第3四半期(累計) 決算説明資料

キーウェアソリューションズ株式会社

(東証2部 3799)



ユビキタス社会の扉を開く鍵

※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。
※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

【 第3四半期(累計)連結決算サマリー 】

事業環境

- ・国内主要企業は、景気の不透明感を背景に投資抑制を継続
- ・情報サービス産業は、11月の売上高が前年同期比－5.0%となり、6ヶ月連続の減少と厳しい状況が継続

当社の取り組みと業績

売上

技術、営業が一体となったシームレスな受注活動による、これまでにない付加価値の高い新規案件の獲得

一方、景気低迷の影響による官庁・自治体や企業のIT投資抑制が想定以上に厳しく、大型案件の減少、来期へのずれ込み、開発案件の延期や長期化等が生じ、大幅な減収

損益

固定費、販管費の更なる削減に努めるも、売上高の減少、受注量の大幅な減少に伴う稼働率の低下、前年下期に発生した一部不採算プロジェクトの後処理の影響、またユーザ企業の更なる原価低減要求が発生した影響を吸収するまでに至らず、減益

連結損益計算書概要

(単位：百万円)

項目 \ 決算期	第44期 2009年(平成21年)3月期 第3四半期(累計)	第45期 2010年(平成22年)3月期 第3四半期(累計)
売上高	15,665	11,927
売上原価	13,291	10,405
売上総利益	2,374	1,522
販管費	2,922	2,347
営業利益	-548	-825
経常利益	-595	-820
純利益	-549	-887

システム開発事業

(単位：百万円)

決算期 項目	第44期 2009年(平成21年)3月期 第3四半期(累計)	第45期 2010年(平成22年)3月期 第3四半期(累計)
売上高	8,425	6,897

売上

官公庁・自治体や企業のIT投資抑制による大型案件の減少、一部開発案件の延期、中止そして契約締結までの期間の長期化等が継続

⇒ 通信業、官公庁向けシステム開発において予定していた複数の大型案件が来期へずれ込み

〔対前年同期比の分野別状況〕

- ・通信業、メディア系、官公庁向けシステム開発 → 堅調
- ・民需系、金融業、ネットワーク監視業務向けシステム開発 → 軟調

損益

組織改編による業務効率化、人件費などの固定費の更なる削減によるコスト圧縮に努めたものの、売上高の減少、受注量の減少に伴う稼働率の低下が発生

総合サービス事業

(単位：百万円)

項目 \ 決算期	第44期 2009年(平成21年)3月期 第3四半期(累計)	第45期 2010年(平成22年)3月期 第3四半期(累計)
売上高	7,240	5,030

売上

ERP事業において大手電機機器メーカーや大手総合医療企業向け案件の計画の見直しが発生

〔対前年同期比の分野別状況〕

- ・ 運輸系SI事業 → 堅調
- ・ ERP事業、HP UX関連インフラ構築事業、keyCOMPASS事業 → 軟調

損益

引き続き更なるコスト圧縮に努めるも、売上高の減少、受注高の減少や顧客企業の内製化による稼働率の低下、既存顧客からの更なる原価低減要求が発生

ERP: Enterprise Resource Planningの略。統合業務パッケージと呼ばれ、受注・販売管理、在庫管理、生産管理、会計といった企業の基幹業務をサポートする情報システムパッケージ。

HP UX: ヒューレット・パカード社(HP)のワークステーションから中・大規模システム用サーバまで用いられているUNIXオペレーションシステムのこと。

連結貸借対照表概要

(単位：百万円)

項目 \ 決算期	第45期 2010年(平成22年)3月期 第2四半期	第45期 2010年(平成22年)3月期 第3四半期
資産合計	9,692	9,925
流動資産	4,964	5,229
固定資産	4,727	4,695
負債合計	2,878	3,328
流動負債	1,809	2,408
固定負債	1,069	919
純資産	6,813	6,596
資本金	1,737	1,737
資本剰余金	507	507
利益剰余金	4,570	4,351
その他	-1	0
負債・純資産合計	9,692	9,925

連結キャッシュ・フロー計算書概要

(単位：百万円)

	第44期 2009年(平成21年)3月期 第3四半期(累計)	第45期 2010年(平成22年)3月期 第3四半期(累計)
営業活動によるキャッシュ・フロー	475	-400
投資活動によるキャッシュ・フロー	-549	-251
財務活動によるキャッシュ・フロー	50	-180
計	-22	-831
現金及び現金同等物期末残高	987	831

▶ 分野別の取り組み

システム開発事業

- 上流工程の対応力、品質・コスト・納期(QCD)の更なる強化による既存顧客からの継続案件の確実な取り込み
- 通信業、メディア系、官公庁向けといった需要が見込める分野へのアプローチ

総合サービス事業

- 上流工程の対応力、品質・コスト・納期(QCD)の更なる強化による既存顧客からの継続案件の確実な取り込み
- 今後需要が見込める医療分野において、当社グループでの情報共有化によるシナジーを活かした電子カルテ・オーダリングシステムへの積極的なアプローチ
- 大手優良パートナー企業との連携による国際会計基準(IFRS) 対応に向けた連結決算システムの販売・導入の事業スキーム検討着手
- プライベート クラウド コンピューティングをはじめとした新しい技術分野への取り組み

クラウドコンピューティング: インターネット経由でソフトウェアやサービスを利用する仕組み。インターネットを図示する際に、雲(クラウド)の絵で表現することから生まれた用語。

クラウドコンピューティングへの取り組み

大手電気機器メーカー様のクラウドコンピューティングを活用した
経営システム改革プロジェクトに当社も参画

本プロジェクトで得た経験・ノウハウを当社の強みである業種・業務ノウハウや各種IT技術と
融合し、クラウドコンピューティングによる「お客様の新たな価値を生み出す」サービスの提供へ

シンクライアント ソリューションを拡充

2月5日
販売開始

ハイブリッド シンクライアント モバイル アクセス キー
Hybrid ThinClient Mobile Access Key



Hybrid ThinClient Mobile Access Key の特長

Key (キー) 一本でシンクライアントにセキュアにアクセス！

ハイブリッドシンクライアントと組み合わせることにより、
既存のパソコンにUSBキーを挿すだけで社内のシンクライアント環境へセキュアに
アクセスできるようになり、どこからでも業務環境の利用が可能



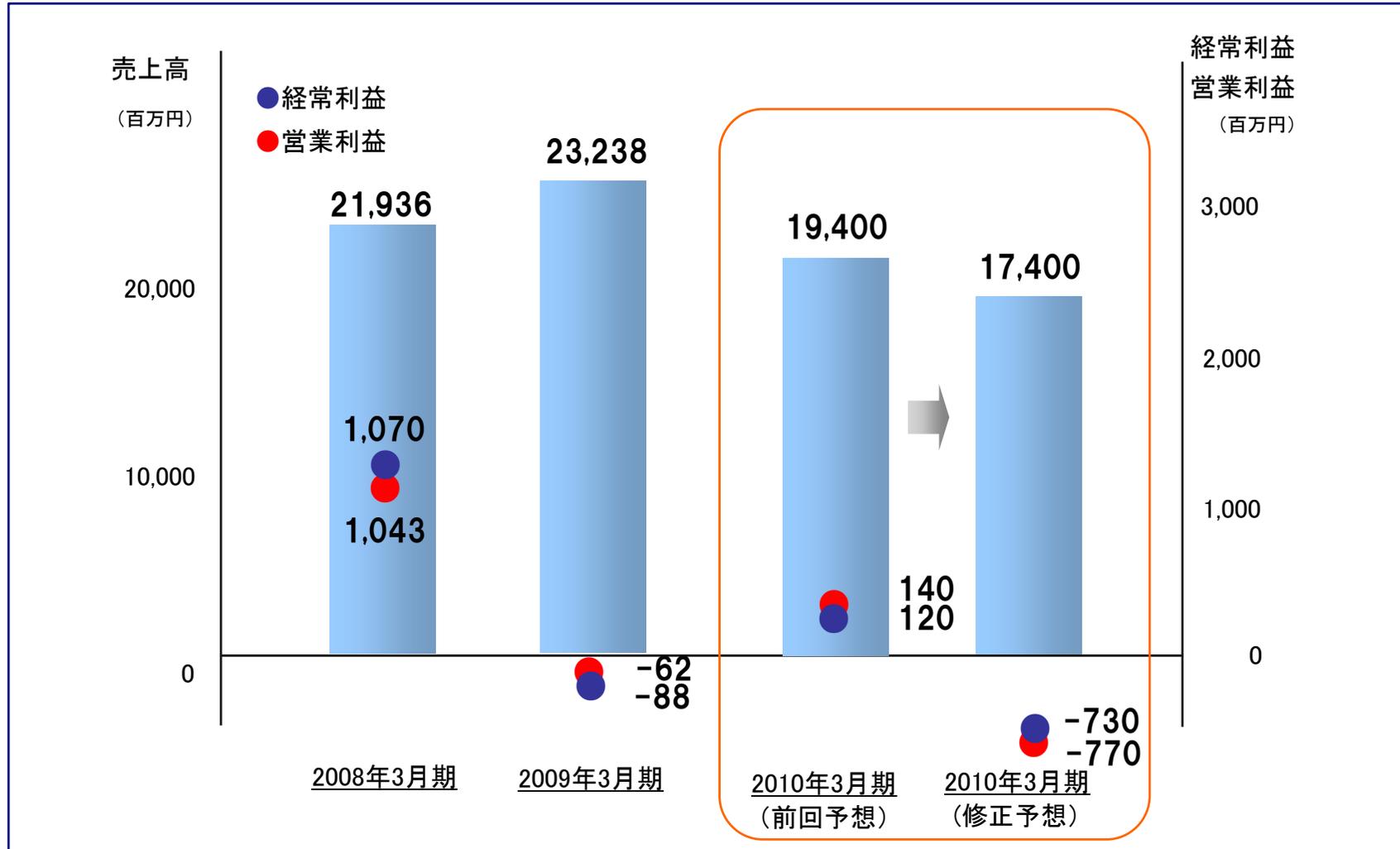
*Hybrid ThinClient Mobile Access Keyの詳細な製品紹介につきましては、当社ホームページでご案内しております。

2010年3月期 通期業績予想

(単位：百万円/%)

項目	第44期 2009年(平成21年)3月期			第45期 2010年(平成22年)3月期		
	決算期 実績	構成比	前期比	予想	構成比	前期比
売上高	23,238	100.0%	5.9%	17,400	100.0%	-25.1%
売上総利益	3,728	16.0%	-10.2%	2,400	13.8%	-35.6%
営業利益	-62	-0.3%	—	-770	-4.4%	—
経常利益	-88	-0.4%	—	-730	-4.2%	—
当期純利益	-404	-1.8%	—	-810	-4.7%	—
1株当たり純利益(円)	-44.39			-88.91		

売上高 174億円 営業損失 7.7億円の見込み



期末配当の見送りおよび配当方針

▶ 2010年3月期 1株当たりの配当額

第2四半期末	期末	年間計
5円	—	5円

▶ 基本方針

- ・利益に比例して配当金を増減させる「業績連動配当」を実施
- ・連結ベースでの株主資本利益率および株主資本配当率を勘案し、業績に応じた配当を実施していく方針 → 今後も継続

▶ 当期の配当方針

- ・当初予想を上回る二期連続の損益の悪化により、業績の回復が急務
- ・期末配当を見送り、業績の早期回復と中長期的な競争力強化・収益力の向上をはかる



KEYWARE SOLUTIONS

お問い合わせ

E-Mail : ir@keyware.co.jp

TEL : 03-3226-3799